

文部科学省 初等中等教育局 財務課

全国の学校における働き方改革事例集について

1. はじめに

文部科学省では令和3年3月に、全国の学校の取組事例を集めた「全国の学校における働き方改革事例集」を作成し、ホームページ上に掲載しました。

作成にあたり、御協力いただきました全国の学校、教職員、教育委員会の皆様に改めて御礼申し上げます。

2. 事例集の発行にあたって

学校における働き方改革には、何か1つをやれば解決するという特効薬があるわけではないため、小さな取組を積

み重ねることが必要です。また、国・学校・教育委員会がそれぞれの立場でひとつひとつの取組を推進する必要があります。

令和元年度も働き方改革の好事例について、「教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」や「学校の働き方改革フォーラム」開催、「学校の働き方改革の取組事例集（参考：https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/mext_00428.html）」発行等を通じて、様々に発信してきましたが、より取り組みやすい事例を多く知りたいという先生方からの声もありました。そのため、今回は、全国の学校から集めた、どの学校でも実現できそうな取組について、分野ごとに削減目安時間とともに記し、まとめました。また、今年度から本格的に始まっているGIGAスクール構想に伴い、教職員のICT環境を通

「全国の学校における働き方改革事例集」について

- 令和3年3月に公開し、全国の学校から提供頂いた約1800の事例から精選した約150の事例を紹介。
- 前半では、どの学校でも実現できそうな取組を含む事例を、分野ごとにまとめ、削減目安時間を記載し、取組の効果を見る化。
- 後半では、GIGAスクール構想に伴い、教職員のICT環境整備も大幅に進むことを想定し、ICT環境を活用した校務効率化を紹介。

■分野一覧

- ・ 学習指導
- ・ 学習評価
- ・ 生徒指導
- ・ 進路指導
- ・ 特別活動
- ・ 部活動
- ・ 郊外での活動
- ・ 出欠・保険情報管理
- ・ 保護者対応
- ・ 教務
- ・ 調査
- ・ 施設管理
- ・ 校務分掌
- ・ 教職員間のやりとり・会議
- ・ 研修・研究
- ・ 会計業務
- ・ 業務分担の見直し
- ・ 執務時間の創出
- ・ 外部人材の確保・活用

■事例集の読み方

■掲載取組例

取組内容をクリックすることで、目的のページに移動することが可能であり、読みやすいデザインで作成。前半では、分野別の取組事例とともに、約50の好事例提供校にインタビューを実施して聞き取った取組の効果や課題・対応策についても紹介。教育委員会による外部人材の確保の好事例や、スクール・サポート・スタッフの活用イメージなどもイラストで紹介。後半では、グループウェアを活用した業務改善ノウハウをまとめ、学校現場においてすぐに活用可能な小テストや欠席連絡や遅刻連絡の連絡を行うことにより、電話による業務の中断をなくした。

全国の学校における働き方改革事例集 文部科学省

じた校務効率化の例についてもご紹介しています。

各学校が働き方改革を進めるにあたっては、業務量を見直すことが大きなポイントになります。取組例の中には、「これをなくしてしまって大丈夫?」と賛否両論があるものも含まれるかもしれません。これまで学校で積み重ねてきた教育活動は、必ず何かしらの教育的意義があつて実施してきたことばかりであり、その活動自体が否定されるものではありません。しかし、人・モノ・カネ・時間という限りあるリソースを有効活用するために、業務に優先順位をつけて精選を進めていく必要があります。取組例は、その学校、そこにいる子供たちにとっての優先順位付けをし、熟慮を重ねた結果です。取組例が全ての学校にフィットするわけではありませんが、各学校や地域の実情を踏まえながら、働き方改革推進のための参考にしていただければ幸いです。

また、今回掲載している取組の中には、新型コロナウイルス感染症対応の結果として見直された内容も多く掲載されています。今回の感染症対応は、学校にとって、先生にとって、子供たちにとって何が大事かという観点から、これまで積み重ねてきた業務の在り方や教育活動を見直す機会でもあったと思います。コロナを機に整理された取組についても、今後の学校の働き方改革を検討するにあたって、大いに参考にしていただけるのですが、その際には、子供たちにとって必要かどうか、

また、見直しが適切かどうかを考慮しながら、今後の学校業務の精選の検討に役立てていただければ幸いです。

3. 事例集の見方

(1) この事例集では、約 1,800 の事例の中から精選した約 150 の事例を掲載しており、「目次」で、

- ・具体的に改善したい業務がある方へ
- ・一部の教職員に負担が偏っていることを解消したい方へ
- ・外部人材の募集・活用にお困りの方へ
- ・GIGA 端末を活用した校務効率化に取り組みたい方へ、と5つの項目に分類しています。ホームページ上に掲載しているPDFではそれぞれ更に細分化した項目をクリックしていただくと、該当する分類の「取組一覧」のページにした業務改善を行うための職場改善手法の開発と定着の仕組みづくりである。

最後の「創造」は、これまでの本県の学校教育活動の蓄積を持続可能なものとするため、次代の学校教育の担い手である中堅・若手教職員による「未来の学校」の在り方を構想する試みである。

全国の学校における働き方改革事例集

目次

具体的に改善したい業務がある方へ

業務ごとの取組

04 業務ごとに具体的な取組を探す

p.04 ~ 94

オンライン会議の実施、所見の見直しなど、業務ごとに取組を紹介します。

一部の教職員に負担が偏っていることを解消したい方へ

業務分担の見直し

08 教科担任業務の分担に関する取組を探す
08 クラス担任業務の分担に関する取組を探す
08 校務分掌の分担に関する取組を探す

p.95 ~ 104

担任業務や校務分掌など、負担の偏りが生じやすい業務の見直しについて紹介します。

執務に使える時間が少なくお困りの方へ

執務時間の創出

08 日課表の見直しに関する取組を探す
08 電話受付時間の制限に関する取組を探す
08 執務環境の整備に関する取組を探す

p.105 ~ 114

執務時間を生み出すための日課表の組み方や勤務の見直しなどについて紹介します。

外部人材の募集・活用にお困りの方へ

外部人材の募集・活用

08 人材募集の工夫に関する取組を探す
08 スタール・サポート・スタッフの1日の働き方イメージを見る

p.115 ~ 118

外部人材にどのような業務を担っていただいているかについて紹介します。

GIGA 端末を活用した校務効率化に取り組みたい方へ

グループウェア活用マニュアル

119 グループウェア活用方法を探す

p.119 ~ 219

Google Workspace for Education™、Microsoft Teams で可能な業務改善ノウハウを紹介します。

好事例提供校のインタビュー

当事例集で扱った取組を実践し成果に繋がっている教育委員会・学校にお話を伺いました。

p.09

事例集の読み方

当事例集の読み方を紹介します。

p.10

全国の学校における働き方改革事例集

取組一覧

取組内容をクリックして、各詳細ページに移動することができます。

学習指導

1. 教材研究や作成

2. 授業・指導案の作成

教材の共有 21.5時間

授業や学校日誌のデジタル化 14.3時間

授業・指導案の簡素化 14.3時間

3. 宿題やノート点検

自主的な家庭学習への転換 66.7時間

家庭学習のやり方の見直し 66.7時間

家庭学習のオンライン提出 33.3時間

4. 授業で使用するプリント印刷

紙ではなくデータで児童生徒へ配布 43.0時間

PC から直接印刷 43.0時間

5. 教室・校内掲示

掲示の精選 21.5時間

6. 学級日誌

学級日誌の見直し 16.7時間

学習評価

1. テスト作成・採点

採点業務の外部サポート・分担 107.5時間

採点システムの導入 25.0時間

小テストの採点の自動化 21.5時間

定期考査の見直し 20.0時間

名簿への転記見直し 10.8時間

小テスト中に採点 10.8時間

採点期間の確保

2. 通知表の作成・点検

所見の見直し 30.0時間

前期や1.2学期の所見の見直し 20.0時間

二学期の採用 15.0時間

押印の廃止 1.5時間

家庭からの回収 0.5時間

生徒指導

1. 給食指導

2. 登下校指導・校則チェック

3. 個別の学習指導・生徒指導

担任外による給食指導 50.0時間

自動手帳の導入 16.7時間

制服の見直し

生徒の様子を日常的に共有

進路指導

1. 進路希望調査・進路先データの収集

2. 大学とのやりとり

3. 進学の事前指導・事後指導

データ収集の Web アンケート化 3.0時間

メールの活用 10.8時間

個別連絡相談会の外部委託 1.0時間

オンライン会議での実施 1.0時間

目次へ戻る

(2) 事例集前半のそれぞれの取組事例ページでは、その取組内容の他、取組による削減時間の目安を示しています。当然、その学校の状況により削減できる時間にも違いはありますが、1つの目安として頂ければ幸いです。

執務時間の創出 電話受付時間の制限

保護者に時間外は電話をしない依頼 小 中 高 特定

取組内容	電話に出る時間を限定し、学校全体で業務時間外は電話に出ないよう取り決めた。	
削減時間 <small>※担当1人あたりの目安</small>	日 20分 × 年 200日 = 66.7 時間/年	
導入効果	電話に対応する時間が減り、授業準備などに充てることのできる時間が増えた。	
事例提供校からの声	課題	変更点について保護者からの質問があるのではないか。 ▶ お便りを作成して周知した。
	対応	生徒の対応に支障がでないか。 ▶ 留守番電話の導入を検討している。

留守番電話・音声ガイダンスの導入

小 中 高 特定

取組内容	放課後は留守番電話に切り替わり、電話対応しないようにした。 電話対応を6時30分で終了し、応答メッセージによる対応に変更した。	
削減時間 <small>※担当1人あたりの目安</small>	日 20分 × 年 200日 = 66.7 時間/年	
導入効果	電話に対応する時間が減り、退勤時間がはよまった。また、授業準備などに充てるようになった。	
事例提供校からの声	課題	変更点について保護者からの質問が増加する。 ▶ 事前に保護者会を開き、変更内容や教育委員会のガイドラインに基づいて検討している旨を説明した。
	対応	留守番電話の解除を忘れてしまうことがあった。 ▶ 管理職をはじめ、電話の位置に近い教員が気を付けるようにした。

[目次へ戻る](#) / [取組一覧へ戻る](#) / [好事例提供校のインタビュー一覧へ戻る](#)

また、事例提供していただいた学校へのインタビューを掲載しており、内容や導入効果、取組にあたっての課題とその対応など、現場の声もお届けしています。

同じような課題を抱えている学校においては、特に参考にして頂けるものとなっています。

どの取組事例も、全国の学校で実際に取り組んでいただいているものを掲載しており、取り組みやすいものばかりとなっていることが特徴です。

さらに、教育委員会が取り組んでいる業務改善のための取組や、外部人材の確保・活用に関する取組など、教育委員会における働き方改革のための取組についても掲載しています。是非、掲載している取組を参考にしてください。

組織的な取組 市内学校が自走する業務改善の仕組みづくり

①推進校同士の取組共有会、②推進校と教育委員会のコア会議を中心に、学校現場の自走を教育委員会が支援する体制づくりに焦点を当てている大阪府枚方市教育委員会にお話を伺いました。

取組全体イメージ

各校で業務改善のアイデア出しワークショップを実施
※一部の学校では、PTA役員や学校運営協議会委員も参加

すぐに取組に移されたこととしては、以下のようなのが挙げられます。

- 夕礼の回数が多いので伝言板を活用
- 保護者宛に電話対応時間を通知
- 担任外が丸つけ補助など

枚方市の取組のポイントは何ですか？

A. ①立候補で推進校を決めたこと、②推進校同士がざっくばらんに相談できるような短いスパンで取組を共有していることだと思います。

A. 「推進校」という順番で回ってきたり、この学校なら成果を上げてくれるだろうというので決めてしまうこともあるかと思うのですが、学校が自ら手を挙げ、自主的に取り組むことを重視しています。

推進校からどのような声があがっていますか？

A. ワークショップで先生からは「『役担者』ではなく『当事者』で取り組んでいきたい」「何が本当に必要かを考えることができた。あたり前とされていることがたくさんあるので、意識を変えていきたい」といった声や、PTA役員の方からは「習慣で続いていることも多く、地域やPTAが協力できることはして、先生が子供と関わる時間を増やせたらいいな」といった声もいただいています。

[目次へ戻る](#) / [取組一覧へ戻る](#) / [好事例提供校のインタビュー一覧へ戻る](#)

学習指導 授業で使用するプリント印刷

スクール・サポート・スタッフへの依頼表

スクール・サポート・スタッフへの依頼について
どのような依頼表を使用されているか東京都台東区立浅草小学校にお話を伺いました。

依頼表イメージ (学校独自の書式)

記入者		納期	
依頼内容	1.印刷 2.ラミネート 3.資料綴じ 4.シュレッダー 5.その他		
印刷詳細	サイズ / 用紙 / 片面 or 両面 / 部数 部		
留意点			

どのような業務をお願いしていますか？

A. 上記の印刷、ラミネート、資料綴じ、シュレッダーが中心ですが、他にもアンケート集計作業など、色々お願ひさせていただいています。

A. 先日、国語辞典や漢字辞典への学校・番号ラベルを貼るという作業があり、それもお願いしました。

お願いすることに抵抗感がある先生はいらっしゃいませんか？

A. 自分でも前任校ではスクール・サポート・スタッフさんがいらっしやんなったので、最初は抵抗というか、お願いしていいのか、申し訳ないなって思う気持ちもありました。仕事は自分とやらんとやらないといけないのかな。

A. でも、スクール・サポート・スタッフさんご自身で「何でもやるから言ってくれ、お願いされたほうが有難いよ」と仰ってくださるので、頼みやすくなりました。実際にお願いしてみると、その分の時間を他の授業準備などに充てられますし、本当に有難いです。

[目次へ戻る](#) / [取組一覧へ戻る](#) / [好事例提供校のインタビュー一覧へ戻る](#)

(3) 事例集の後半では、GIGAスクール構想の端末整備と同時に、多くの自治体で導入されたグループウェアを用いてできる業務改善のノウハウをまとめています。

グループウェアを活用することで、予定管理や調査などの業務負担を軽減するうえで、様々なメリットがあり、教職員間のやり取りや、学校と保護者等とのやり取り、これまで紙で配布、回収、集計していたアンケートなどをデジタル化することができます。

グループウェアをどのように活用したら良いか分からない、といった場合にも、この事例集を参照していただくことで、こういった機能があり、こういった活用方法ができるのかを分かりやすくまとめています。

この事例集を活用していただき、ICTを活用した校務効率化についても取り組んで頂けると幸いです。

GIGA×働き方改革
グループウェア活用のメリット

グループウェアを活用すると、やりとり・予定管理・調査などの業務負担を軽減する上で、さまざまなメリットがあります。

やりとり	予定管理	調査
メールでのやりとりは面倒。 会議の時間が長い...	行事予定が更新のたびに教職員・保護者へお知らせの手間...	アンケートの配布・回収が面倒...
どの資料が最新なのかファイルの整理が煩雑...	兄弟がいる家庭の面談は調整が難しい...	紙媒体での回収は、集計も大変...
グループウェアを活用すると...	グループウェアを活用すると...	グループウェアを活用すると...
教職員同士のやりと리를チャット化！ チャットツール	最新の学校行事を常に共有！ 学校行事カレンダー	Web上で完結！ Webアンケートフォーム
オンライン上で書類の共有ができる！ 共同編集ツール	保護者面談の調整がほぼ人手を介さず実現できる！	集計も簡単にできる！
メリット	メリット	メリット
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 職員会議での伝達の時間が減る ➢ 紙を印刷して配布する手間が減る 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 常に最新の予定を教職員・保護者と共有できる ➢ 保護者面談の調整がほぼ人手を介さず終わる 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ アンケートを印刷、配布、回答を記入する手間が減る

4. おわりに

申し上げるまでもなく、この事例集は、大いに学校現場で活用して頂きたく作成したものです。

それぞれの事例を参考にして頂きながら、各学校の状況に応じて、働き方改革の取組を一層進めて頂きますようお願い致します。

(全国の学校における働き方改革事例集QRコード)

